

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

8524

清掃事務所維持管理事業（西）

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	4	自然と共生する環境にやさしい社会の形成
施策	2	循環型社会の形成
取組方針	2	廃棄物の適正処理、適正管理

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		清掃費	
	目		塵芥処理事業費	
	大事業		塵芥処理事業	
中事業		清掃事務所維持管理事業（西）		

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	収集センター	松井 辰也 453-0253
事業実施の根拠法令			関連課			

1 事業内容

事業目的	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）		全体事業概要			
	西事務所の職場環境を整えることにより、維持運営を円滑にして、一般ごみ及び資源の収集運搬が円滑に進む状態にする。		塵芥収集業務を円滑に遂行するため清掃事務所を維持管理する。			
事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	
	事務所の衛生的な職場環境の維持管理に努めた。	事務所の衛生的な職場環境の維持管理に努めた。	事務所内清掃、機械警備、し尿浄化槽保守点検、受水槽ポンプ設備等保守点検など業務委託契約、被服等購入、光熱水費や火災保険料等支払、所々修繕業務等。	事務所内清掃、機械警備、し尿浄化槽保守点検、受水槽ポンプ設備等保守点検など業務委託契約、被服等購入、光熱水費や火災保険料等支払、所々修繕業務等。	事務所内清掃、機械警備、し尿浄化槽保守点検、受水槽ポンプ設備等保守点検など業務委託契約、被服等購入、光熱水費や火災保険料等支払、所々修繕業務等。	

2 事業コスト

事業費等（千円）	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	12,610	13,816	9,629	9,845	9,498	9,315	10,030	0	10,030	0
伸び率（%）	31.8%	15%	△23.6%	△28.7%	△1.4%	△5.4%	5.6%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	21,381	20,904	19,781	18,904	17,743	18,062	18,702	0	18,702
	正規職員以外	0	0	0	0	2,233	1,879	2,382	0	2,382
	小計	21,381	20,904	19,781	18,904	19,976	19,941	21,084	0	21,084
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	72	72	72	72	72	72	72	0	0	0
一般財源（税等）	12,538	13,744	9,557	9,773	9,426	9,243	9,958	0	10,030	0
所要人数（人）	正規職員	2.69	2.63	2.48	2.37	2.22	2.26	2.34	0.00	2.34
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.90	0.38	0.96	0.00	0.96
主な予算内訳	光熱水費4,320千円 所々修繕料1,452千円 管理委託料1,975千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	所々修繕箇所数	箇所	目標値	10	10	10	10	10
			実績値	10	9	7		
			達成度(%)	100%	90%	70%	%	%
成果指標	事務所設備不具合日数	日	目標値	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
活動指標			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	事務所維持管理については、現在まで小規模修繕によりかろうじて職場環境を維持しており、今後の事業を進めるためには、より効率的な修繕を実施するなどの一部見直しを行うことが妥当と考えます。
見直し・改善内容	事務所が年を追うごとに老朽化し、修繕を要する箇所が増加していることを考慮すると、大規模な修繕を行う方が衛生的な職場環境を作ることができると考えます。